



RI 第2610地区

東となみロータリークラブ会報

2016-2017年度 No.30

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2016—2017年度 会長 山本武夫、幹事 得永忠雄

2016-2017年度 RI テーマ



(ジョン F. ジャーム会長)

例会記録

第1848回例会

平成29年2月8日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. ソング：我等の生業
3. 卓話ゲスト：片岸 博さん(南砺ユネスコ協会副会長、南砺ラオス会会長)



4. 会長の時間：今日は片岸さんに卓話において頂き有難うございます。昨年3月に、横須賀のフロリデーション施設見学をした時に、南砺市議団としてお越しいただき、有難うございました。施設も見学していただき、これが砺波地区のフロリデーション事業に繋がればと期待しています。是非よろしくお願いします。今日はユネスコ協会、ラオス会の活動を紹介していただくと聞いていますので、楽しみにしています。今日、ガバナー・マンスリー・レターが配られたと思いますが、前日ガバナー事務所から少し記事を書いてくれないうと依頼がありました。「ロータリーの友」の記事と重ならないように少し内容を変えて寄稿しました。先週の木曜日に高岡市役所へ行ってきました。当日は、

上田ガバナー補佐並びに村谷次期ガバナー補佐と3人で健康増進課、子ども・子育て課及び関係の深い教委の体育保健課に訪問してきました。子供たちの健康づくりとフッ素洗口推進のための、プロジェクトを継続して行いたいとお願いしてきました。なお、ロータリー財団地区補助金申請書についてもほぼできましたので、2月中に関係クラブの了承を得て3月中には申請したいと考えています。(地区補助金申請書を回覧する。)再来週は3RC 合同例会があり、月末にはIMがありますので皆様の参加をよろしくお願いします。

5. 幹事報告：①2月26日(日)2016-17年度富山第三分区IM バス時間、福野 15:20、井波 15:30、庄川 15:35。②ベルギー短期交換派遣学生募集について、定員：28名、派遣期間：8月5日～29日、申込期限：2月28日。③2017-18年度ロータリー手帳予約案内④世界社会奉仕事業並びに海外クラブとの交流についてのアンケート結果(回覧する。)⑤近隣クラブの例会変更は事務局に確認を。
 6. 委員会報告：①出席委員会(横山幹委員長)：21名中16名出席(76.19%)
 7. ニコニコBOX(桧原SAA；3名)
- 山本武夫会長：片岸博様 本日はありがとうございます。昨年は、横須賀までありがとうございました。(追加)
- 浅田会員：今日はお忙しい中、片岸博市議を迎えてラオス

の話をさせていただきます。よろしくお願いします。

中島会員：職場では毎日インフルと戦っています。消毒とマスク着用の辛い日々です。片岸様ようこそ。卓話宜しくをお願いします。



会員卓話「無題」片岸 博氏(南砺ラオス会会長)

浅田会員(紹介者)：片岸さんは私の2代前の議長であり、現役の議員さんです。ラオス会の活動を10年あまりされておられますので、活動の内容についてお話しいただきたいと思います。



片岸氏：今日は浅田先輩から声がかかり喜んで参りました。お手元に資料を配布しましたので、それを見ながら現状をお伝えしたいと思います。資料に入ります前に、ラオスという国について少しお話しします。地図にありますように中国の南、ベトナムの隣、タイの北に位置しています。海に接していないということから隣国と仲良くするということがモットーになっている国です。私どもが交流しているのは首都ビエンチャンや世界遺産のあるルアンパンパンなどです。面積は、日本の本州くらいであります。

言葉はフランスの植民地でありましたが、フランス語は上流階級の人しか使えない。殆どの人は自国語（ラオス語）を使っています。何度行ってもなかなか覚えることができません。いろんな宗教は存在しますが主流は仏教となっています。経済状況を見ると貨幣価値は日本の十分の1以下であり、参考に持参しました焼酎は、主に観光客の土産用であります。日本円で230円程、コーヒーパックは約50円であります。日本の半世紀前を考えていただければよいと思います。今から40～50年前からは最大の支援国は日本でしたか、近年は中国が最大の支援国となっています。まだまだ発展の余地はありますが、日本の原風景60年前の姿を残してほしいというのが私どもの希望の一つであります。それでは、ラオスとの交流の切掛けについて少し言いますと、10数年前に私どもの地域の若者が東南アジアを旅しました。その折にラオスの人と交流したという経緯があります。その時の原住民の皆さんのもてなしや子供たちの笑顔に感銘し、何とか支援をしたいというのが始まりであります。



焼酎(230円程)

コーヒー(50円程)

(以下、配布資料の写真を中心に話がある。)

これまで幾つかの活動をしてきましたが、その中で図書館を寄付（日本円で約50万円）、体育館の寄付（約同額）（つづいて南砺ラオス会会報誌による説明がある。）昨年、12名の女性が南砺市に来てくれました。彼女たちの給料月額からは、渡航費の工面は大変困難であるが、昨年の来日は希なことである。

(日本での滞在費はすべてラオス会で負担。)

ラオス会としての今後の活動目標は、中国も交えて世界遺産を通じた交流を取り入れていきたいと考えています。

御静聴ありがとうございました。

(会報担当) 中島(記事・写真)・山本